

## 【機械・ロボット科2年生】 鋳造実習を行いました。



令和元年9月10日(火)、機械・ロボット科2年の実習の授業で、班員6名が鋳造(ちゅうぞう)実習を行いました。今年度、3回目となります

この実習は鋳鉄を高周波溶解炉で溶解(1400°C)し、あらかじめ製作した鋳型(いがた)に流し込んで製品を作るものです。

高周波溶解炉から溶けた鋳鉄が黄色く光りながら流れ出します。これを専用の容器で運び、鋳型に流し込みます。十分に固まり冷やしてから、製品を取り出し、次回の実習では、研磨などの仕上げを行い作品が完成します。

鋳造は、鉄やアルミニウム合金などの金属を溶かして、砂や鉄などで作った鋳型の中に鋳込んで冷やして固めて形をつくる加工法です。鋳造でできたものを鋳物(いもの)と呼びます。鋳物は、エンジンや電気機器の部品など様々な用途で使用されています。

授業では、鋳物の設計、模型・鋳型の製作、溶解、鋳造、仕上げの工程を実際に体験しながら鋳造の原理を学習します。